

■ 今春の県議選立候補者のポスター請求額 ■

選挙区	候補者	請求額	1枚単価	上限単価への比率
岐阜市	笠原多見子	535,050	1,189	100
	安田 謙三	1054,650	1,185	99
	太田 維久	977,487	1,099	92
	渡辺 嘉山	934,500	1,050	88
	×白橋 国弘	934,500	1,050	88
	野村 保夫	878,430	987	83
	岩花 正樹	878,430	987	83
	玉田 和浩	514,500	735	63
	平野 恭弘	420,400	525	44
	大須賀志津香	352,800	504	42
大垣市	猫田 孝	955,632	1,389	100
	野村 美穂	833,400	1,389	100
	伊藤 秀光	630,000	1,260	90
	×正岡 薫	88,200	221	15
高山市	岩井豊太郎	78,432	114	8
	×小谷 伸一	957,000	1,100	91
	川上 哲也	780,516	891	74
多治見市	中村 慈	451,140	515	42
	×空野 光治	-	-	-
	×若尾円三郎	409,762	1,942	100
	×井上あけみ	399,423	1,893	97
	山本 勝敏	372,204	1,764	90
	×二和田美枝子	548,600	1,300	66
※関市	高木 貴行	123,480	294	15
	林 幸広	426,650	1,150	87
中津川市	尾藤 義昭	560,952	756	57
	平岩 正光	499,098	1,293	100
	早川 捷也	937,500	1,250	96
	×三好 通男	525,000	1,250	96
※美濃市	×今井 裕司	679,000	970	75
	佐藤 武彦	657,020	2,470	88
瑞浪市	渡辺 真	343,308	2,814	94
	×溝口昭八郎	528,000	2,200	74
羽島市	大野 泰正	716,100	3,255	100
	×佐野 隆史	359,310	1,797	55
恵那市	水野 正敏	879,480	1,260	91
	×額瀬 俊治	487,500	1,250	90
美濃加茂市	小川 恒雄	264,960	690	34
	×名和 勘二	176,400	504	25
土岐市	矢島 成剛	295,596	1,428	72
	×木股 米夫	141,200	353	17
各務原市	足立 勝利	784,110	2,215	99
	松岡 正人	697,380	1,970	88
	伊藤 正博	567,000	1,890	85
	×横山 浩之	460,908	1,302	58
可見市	×上保木 威至	-	-	-
	×亀谷 光	897,015	1,500	98
山県市	村上 孝志	577,668	966	63
	小原 尚	363,300	797	52
	横山 善道	255,150	1,890	68
瑞穂市	×藤垣 邦成	130,140	920	33
	篠田 徹	152,460	1,155	22
※飛騨市	×西岡 一成	101,871	772	15
	洞口 博	189,000	630	30
本巣市	×白木 裕輔	735,558	2,851	100
	松村多美夫	717,885	2,783	97
郡上市	野島 征夫	1073,640	1,167	100
	×山川 直保	242,907	283	24
	×山田 志平	145,950	209	17
下呂市	×伊藤 敏悟	141,750	379	17
	駒田 誠	102,102	273	12
※海津市	森 正弘	360,000	1,800	69
	田中 勝士	134,260	1,370	20
羽島郡	×島根 正寿	24,181	235	3
	村下 貴夫	0	0	0
※不破郡	藤塚 守	199,500	798	27
	×山中 一輝	520,000	4,000	79
安八郡	脇坂 洋二	63,315	473	9
	×高橋 昌夫	876,828	1,642	100
※揖斐郡	渡辺 信行	472,590	885	53
	渡辺 猛之	640,500	1,281	95

敬称略。※は無投票の選挙区。×は落選。-は法定得票に達せず。比率は%

公費混同

選挙ポスター代疑惑

03年4月と今年4月の県議選の一部候補者が、県に公費負担させたポスター代が多すぎるとして、市民団体が18日、県監査委員に住民監査請求をした背景には、公費負担の上限単価に近い請求が県議選でも少なくない実態がある。今春の県議選では直前に同様の監査請求があったからか、上限単価に近い請求をした候補者は減ったものの、会派を問わず過大と思える請求は続いている。(岡本洋太郎)

住民監査請求をした市・町のうち、岐阜県民ネットワークによると、03年4月の県議選では、73人が立候補、71人が

県議選も上限近く請求 過大額、会派問わず



住民監査請求について発表する寺町知正・山県市議一岐阜市の県庁で

ポスター代として総額4060万円を請求した。このうち、20人が公費負担の上限単価の100%、18人が90%以上を、それぞれ請求していた。

同団体事務局の寺町知正・同山県市議は、昨年4月から今年初めに情報公開請求で得た文書からこうした実情を把握した。3月には、03年の県議選について今回と同じ趣旨の住民監査請求をした。

請求は却下されたものの、請求直後の4月の県議選では、公費負担の上限単価の100%を請求したのは9人に半減し、90%以上も15人に減った。請求総額も03年より減り、3447万円にとどまった。

寺町市議は「今春の県議選には、まじめにやっつけてほしいという素朴な願いを込め、監査請求で議員の注意を喚起した効果が出た」とみる。

ただ、こうした上限単価に近しい額でのポスター費の請求は、03年に続いて今春も、所属会派を超えて行われていた。

今春の県議選で、上限単価の100%を請求した現職県議は、自民系の県民クラブ6人、民主系の県民クラブ1人、90%以上100%未満は自民ク7人、県民ク1人、無所属2人。80%以上90%未満は、自民ク2人、県民ク3人、岐阜県議公会明党2人だった。

請求 費用 調査 スター 市民 議員 県住

制度見直し訴え

寺町・山県「多額公費投入、時代錯誤」
市議ら

ボスター製作費を公費で負担しすぎているとして、相場のボスター代よりも支払った金額約2800万円を返還を求めた住民監査請求。市民団体「くらし・せせん」の山県民ネットワークの寺町知正・山県市議らは18日、県庁で開

山県市会3委員長辞任

いた記者会見で「県の財政が厳しく、あらゆる面で公費の見直しが進んでいる中、高額なボスター製作費は時代錯誤」と、多額の公費が投入されている選挙公営制度の見直しを訴えた。読売新聞が情報公開で入手した今春の県議選のボスター製作費を水増しされた問題で、水増し請求したとして、同県警選で当選した市議らから詐欺容疑で事情聴取された問題で、水増し請求した。3人は総務委の武藤孝成(57)、産業建設委の村瀬隆彦(54)、議会運営委の渡辺政勝(59)の各委員長。22日から開かれる各委員会で辞任を協議する。

求を認めた市議4人のうち、市議会の委員長を務めている3人が18日、各委員副委員長や議長あてに委員長の辞任願を提出しから開かれる各委員会で辞任を協議する。

いを受けていたことがわかった。寺町市議は「自分が2004年の山県市議選で135枚のボスターを作った時は、防水紙にカラー写真のボスターで1枚6000円程度だった」と、高額なボスター製作費を批判した。これに対し、製作費を00多請求した県議42は「画びょうを使わなくてもはがれないボスターにするなど工夫したため高くなっただけで説明する。別の県議の印刷業者も適切に水増し請求はなかったと語った。同グループでは「公金を水増し請求することは許されない行為。不正なことがあれば速やかに返還すべき」と強調した。

実名入り請求額一覧
山県の市民団体配布
04年市議選25候補
寺町知正・山県市議らがつくる市民団体「やまがたの環境とくらしを考える会」は18日、2004年の市議選でボスター製作費などの公費負担分を請求した候補25人の実名入り請求額一覧を作成し、新聞の折り込み広告で市内約1万世帯に配布した。一覧表は、寺町市議が2006年11月に山県市に情報公開請求した文書に基づき作成した。請求金額やボスター1枚の単価、ボスター製作を請け負った印刷業者の所在地を掲載した。寺町市議は「公表してほしいの声を多く、配布した。市民の怒りや不満は多いので、議員は説明責任を果すべきだ」と話している

選挙区	1枚あたりの支払額	上限額比
岐阜市 (1189円)	1189円	100%
	1185円	99%
	1098円	92%
	1050円	88%
	1050円	88%
	987円	83%
大垣市 (1389円)	987円	83%
	735円	61%
	525円	44%
	504円	42%
	1389円	100%
	1389円	100%
高山市 (1200円)	1260円	90%
	220円	15%
	114円	8%
	1100円	91%
	891円	74%
	515円	42%
多治見市 (1942円)	1942円	100%
	1893円	97%
	1764円	90%
	1300円	66%
	294円	15%
	1150円	86%
関市 (1325円)	756円	57%
	1293円	100%
	1250円	96%
	1250円	96%
	970円	75%
	2470円	88%
中津川市 (1293円)	2814円	94%
	2200円	73%
	3255円	100%
	1796円	55%
	1260円	91%
	1250円	90%
美濃加茂市 (2005円)	690円	34%
	504円	25%
	1428円	72%
	353円	17%
	2215円	99%
	1970円	88%
美濃市 (2781円)	1890円	85%
	1302円	58%
	1500円	98%
	966円	63%
	797円	52%
	1890円	68%
美濃加茂市 (2005円)	966円	35%
	1155円	22%
	771円	15%
	630円	30%
	2851円	100%
	2782円	97%
美濃加茂市 (2005円)	1167円	100%
	282円	24%
	208円	17%
	379円	17%
	273円	12%
	1800円	69%
美濃加茂市 (2005円)	1370円	20%
	235円	3%
	2036円	100%
	2851円	100%
	1167円	100%
	282円	24%
美濃加茂市 (2005円)	208円	17%
	379円	17%
	273円	12%
	1800円	69%
	1370円	20%
	235円	3%
美濃加茂市 (2005円)	請求せず	請求せず
	4332円	請求せず
	798円	27%
	4000円	79%
	472円	9%
	1642円	100%
美濃加茂市 (2005円)	885円	53%
	1281円	95%

県議選立候補者ボスター製作費(公費負担分、2007年)

支払いは、各候補者ごとの金額。は法定得票に達しなかった候補。選挙区のカッコは1枚あたりの上限額。網掛けは監査請求対象外。

06.19 4477

の代選 2900万円返還求め 「97人が水増し請求」

住民団体
「97人が水増し請求」

山県市議選など公費負担されるポスター代の水増し請求問題に関し、住民グループ代表らが十八日、二〇〇三（平成十五）年と今年四月の県議選は却下の内容を変え、で、ポスター一枚あたり今年分のポスター代水増しの上限額の50%以上を請求した候補者延べ九十七人が水増し請求したとして、過去一回の選挙の水増し分計約二千九百万円を候補者に返還させるよう求めて県監査委員に監査請求した。

請求したのは「くらし・しぜん・いのち県民ネットワーク」の事務局・寺町知正山県市議選ら十五人。〇三年に公費負担されたポスター代過払い分を返還を求め、今年三月に行った監査請求（結果は却下）の内容を変え、今年分のポスター代水増し分を合わせて返還を求めた。

県議選は選挙区ごとにポスター代の上限額が設定されている。ポスター一枚あたりの上限額は、今年が郡上市選挙区は千六百七十七円から羽島郡選挙区は千六百七十二円とばらつきがある。監査請求書によると、水増しがあつたと推測される対象者は、ポスター一枚あたりの上限額の水増し請求額として返還を求めた。二〇〇四（平成十六）年四月の山県市議選で、市議ら数人が公費負担されるポスター代を水増し請求したとされる詐欺容疑事件で十八日、水増ししていた市議四人のうちの三人が市議会常任委員会の役職の辞任願を出した。

辞任願を出したのは、武藤孝成（五七）、村瀬隆彦（五八）、渡辺政勝（五九）の三人。市議は総務委員、市長、村瀬市議は産業建設委員長を務めており、各委員会の副委員長あてに辞任願を提出した。二十日以降に開かれる各委員会では、水増しを協議される。また、渡辺市議は議会運営委員長、武藤、村瀬市議は同委員のため、三人が議長あてに委員の辞任願を出し、受理された。（夕刊既報）

山県市議 議会の委員長辞任願

水増しがあつたと推測される対象者は、ポスター一枚あたりの上限額の水増し請求額として返還を求めた。二〇〇四（平成十六）年四月の山県市議選で、市議ら数人が公費負担されるポスター代を水増し請求したとされる詐欺容疑事件で十八日、水増ししていた市議四人のうちの三人が市議会常任委員会の役職の辞任願を出した。

辞任願を出したのは、武藤孝成（五七）、村瀬隆彦（五八）、渡辺政勝（五九）の三人。市議は総務委員、市長、村瀬市議は産業建設委員長を務めており、各委員会の副委員長あてに辞任願を提出した。二十日以降に開かれる各委員会では、水増しを協議される。また、渡辺市議は議会運営委員長、武藤、村瀬市議は同委員のため、三人が議長あてに委員の辞任願を出し、受理された。（夕刊既報）

50%以上を請求した候補者。〇三年の候補者七十人のうち上限額の50%以上の請求者は五十人、今年七十一人のうち四十七人が50%以上を請求しており、延べ九十七人の50%を超えた分の金額を水増し請求額として返還を求めた。二〇〇三（平成十五）年と今年四月の県議選は却下の内容を変え、で、ポスター一枚あたり今年分のポスター代水増しの上限額の50%以上を請求した候補者延べ九十七人が水増し請求したとして、過去一回の選挙の水増し分計約二千九百万円を候補者に返還させるよう求めて県監査委員に監査請求した。

選挙公営制度を巡り、2003年と今春の岐阜県議選で、県が公費負担したポスター製作費が相場よりも高いとして、同県の市民グループ「くらし・しぜん・いのち 岐阜県民ネットワーク」（事務局＝寺町知正・岐阜県山県市議）のメンバー15人が18日、候補者延べ97人と印刷業者に対し、払い過ぎた約2800万円を県に返還するよう、県監査委員に住民監査請求した。

県条例では、選挙ポスター製作費など一定額を公費負担する定めている。選

岐阜県議選ポスター費不正疑惑 2800万返還求め監査請求

市民団体

選挙公営制度を巡り、2003年と今春の岐阜県議選で、県が公費負担したポスター製作費が相場よりも高いとして、同県の市民グループ「くらし・しぜん・いのち 岐阜県民ネットワーク」（事務局＝寺町知正・岐阜県山県市議）のメンバー15人が18日、候補者延べ97人と印刷業者に対し、払い過ぎた約2800万円を県に返還するよう、県監査委員に住民監査請求した。

県条例では、選挙ポスター製作費など一定額を公費負担する定めている。選

選挙区ごとに掲示板の数などに基づいてポスター一枚当たりの単価を算出しており、上限額は掲示板の枚数などによって異なる。

今春の岐阜市選挙区（定数9）の場合、上限額は一枚189円だった。同グループでは、過去の市議選で実際のポスター製作費は、上限額の4分の1程度に収まったとして、「高く見ても上限額の50%程度で製作できるはずだ」と指摘。上限額の50%を上回る部分について払い過ぎたとし、返還を求めている。内訳は、03年選挙が50人で約1600万円、07年選挙が47人で約1200万円。

同グループでは、監査請求が認められない場合は、訴訟を起す方針。

県選挙管理委員会には「監査を受ける立場なのでコメントは控えるが、監査には協力する」としている。

6.19 岐阜

としている。

（第三種郵便物認可）

2007年(平成19年)6月19日 (火)

よみうり

代一ターポ 「計2888万円、返還を」 岐阜県議選 市民団体が監査請求

03年と07年の岐阜県議選で一部の候補者がポスター代を増しとして県に公費負担させたとして、市民団体「くらし・しぜん・いのち 岐阜県民ネットワーク」が18日、公費負担の上限単価の50%以上を請求した候補者延べ97人とその印刷業者延べ約70社に水増し請求分として計2888万円を県に返還させるよう、県監査委員に住民監査請求をした。

同県は条例で、選挙ポスターや選挙カーの燃料などの費用の一定額を公費負担すると定めてい

る。ポスターの上限単価は、発注枚数によるコスト削減効果を見込んで選挙区の掲示場の数によって異なり、07年県議選では、合併で掲示場が減った羽島郡が最高で6872円、最低は岐阜市の1189円だった。

これに対し同ネットワークは、頑丈なプラスチック製ポスターでも一枚600円程度ででき、一部の候補者は水増し請求が疑われると主張。04年の同県山県市議選でポスター代を増し請求した

ことを記者会見で認め、市議ら5人のうち最も少ない請求単価が上限の53%だったことから、県議選でも50%以上の請求例に不正が疑われる余地があるとして、対象者や返還請求額を決めた。

03年県議選(定数49)には73人が立候補し、約30社で印刷した71人がポスター代を請求。07年県議選(定数46)には71人が立候補し、約40社で印刷した68人が請求した。同ネットワークによる

住民が県に監査請求

岐阜ポスター製作費水増し

岐阜県議選で県が公費負担した候補者のポスター製作費が水増し請求された疑いがあるとして、市民団体「くらし・しぜん・いのち 岐阜県民ネットワーク」の15人が18日、過去2回の県議選で

負担上限額の50%以上を受け取った候補者と印刷会社に、50%を超えた分を県へ返還するよう求める住民監査請求を、県監査委員事務局に提出した。対象は延べ97人、返還請求額は計約2888

が50%超を請求した。県民ネットは「ポスター製作費の相場は上限額の50%以下」などとして、監査請求に踏み切った。

寺町氏は今年3月、03年の県議選で上限額の90%を超えた分について返還を求める住民監査請求を行った。請求は同4月に却下されたが、直後の県議選では、90%以上を請求した候補者数が03

万円にのぼる。県民ネット代表の寺町知正・同県山県市議らによると、03年の県議選で、県は71人のポスター代計約4060万円を負担。このうち50人が公費負担上限額の50%を超える額を請求した。また今年4月の県議選では、68人のポスター代計約3447万円を負担し、うち47人

6.19 日

年選挙の38人から24人へ減少。寺町氏は「監査請求した効果。県警や監査委員が動く前に、返すべきものは返してほしい」と話す。【中村かさね】

県議選ポスター費返還求め監査請求

岐阜の市民団体

選挙公営制度に基づくポスター製作費の公費負担をめぐり、今年四月の岐阜県議選と前回二〇〇三年の同県議選で、候補者による水増し請求の疑いがあるとして、市民グループ「くらし・しぜん・いのち岐阜県民ネットワーク」(代表・寺町知正同県山県市議)が十八日、超過請求分を県に返還させるよう求め、県に住民監査請求した。

同グループは選挙ポスターについて、県費負担の認められる製作費の上限額(選挙区の掲示場数に応じて一枚当たり千百六十七・六千六百七十二円)の半額程度でできるはずだと指摘。半額以上

を請求した候補が返還すべきだとしている。

監査請求によると、〇三年の県議選は候補者七十二人のうち五十人が対象で、超過分は合わせて約千六百二十万円。四月の県議選は候補者七十一人のうち四十七人が対象で、超過分の合計は千二百六十万円。

選挙公営のポスター製作費をめぐっては三年前の同県山県市議選で、水増し請求して市費を詐取した疑いで市議ら数人が県警から事情聴取を受けている。